

第4回第3期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 会議録

開催日時	令和8年1月21日（水曜日） 午後1時30分・開会 午後3時25分・閉会
開催場所	上湧別コミュニティセンター2階大会議室
出席委員等	委員：猪熊副委員長、清水・小幡・片岡・藤井・水野・上松・遠藤・篠田・西村各委員 各部部长：岩瀬住民税務課長、北林建設課長、大口商工観光課長
欠席委員等	今野・早川各委員
事務局職員	企画財政課：井上課長、佐藤主幹、齊藤主査
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 委員長挨拶 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について (2) 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）の答申（案）について 4. 答申 5. 町長との意見交換 6. 閉 会
会議の公開	公 開
傍聴人の数	0名
提出資料	<ol style="list-style-type: none"> (1) 第4回 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会議案 (2) 湧別町人口ビジョン（素案、改訂版） (3) 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）
その他	

1. 開 会

井上課長) ご案内の時間になりました。ただ今より、第4回目の湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を開催させていただきます。本日、早川委員、今野委員より欠席のご連絡がありましたので、ご報告させていただきます。

なお、湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会条例第6条第2項の規定では、会議は委員の半数以上が出席しなければ、開くことが出来ないとされておりますが、本日の会議の出席委員数は10名であり、委員の過半数が出席しておりますので、本日の会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

2. 委員長挨拶

井上課長) それでは、猪熊副委員長よりご挨拶を申し上げます。

猪熊副委員長) 大変どうもお疲れ様です。本日は最後の策定委員会ということになります。皆さまには大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。そして、これまで3回にわたる委員会で活発な発言をいただきました。本日はその最終確認をしていただき、これまでの意見等を反映された内容で加藤町長へ答申できることを安堵しております。答申後、加藤町長との意見交換会、前回事務局へお願いした湧別高校学生寮の施設見学を予定しておりますので、限られた時間内ですけれど、最後までよろしく申し上げます。

3. 議 題

(1) 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

※素案に基づき事務局から説明 文言等の修正なし

(2) 第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)の答申(案)について

※答申案に基づき事務局から説明

西村委員) 素案のところがいままでないほど攻めた目標を示しているものもあり、そこに関して策定委員会の皆さまと役場の皆さんと決めてきた背景・プロセスがあり、この案が出たときに一緒にやっという言いやすいのでこういう機会に参加させていただきありがたいです。答申案の附帯意見のところ、1つ目はとても大事なことで思っておりますし、2つ目のところはもう少し強く書いてもいいのではないかと思っており、庁舎が寒いという話も聞かえてきますし、湧別庁舎は耐震化がされていないので、町のために働いて

いる職員のためにもというのを付け足したり、あとは先送りしない、このビジョンを掲げてすぐに取り掛かるということをつけ足したりしてもいいと思っています。

猪熊副委員長) この後、町長への答申を予定しているので、具体的にどういう文言にするのかこの場で決めなければならない。

片岡委員) 今の制度を利用した庁舎建設を早急に検討していただきたい。このまま継続して欲しいと文言にすればいいんじゃないですか。前回の会議で附帯意見として出しましょうという話であったので、前回話した内容にしてはちょっと弱いよねという風に思います。この後の意見交換で言うのか、附帯意見として記録に残る形として文書にするのか。

猪熊副委員長) 前回の会議で意見が出て、それを今回事務局の方で案を作成し事前に配布されてますよね。今出された意見もありますが、それ以外の意見もあると思いますので、他の方の意見を聞いてから検討したいと思います。

篠田委員) この間の会議でどこに庁舎のことを書くかという話になった時に素案の中に入れることは無理があるので、附帯意見として取り扱うこととなった。もう少し強く要望するのか、この文言ではちょっと弱いという感じはします。

水野委員) この前の議会でもある程度方向性が決まったというか、行政報告で31日には契約破棄されるという現実的な問題として出てきているので、なかなか現行制度を活用してということは現実的に難しいのかなど。それであれば、庁舎を建てるとか集約するという部分がいいと思うが、現行制度を使ってというと町長選挙や町議会議員選挙の結果を覆すこととなるので、私としてはひっくり返したくないという気持ちがあります。ですので、このままの文言でいいと思います。集約化や施設の再配置はもう少しやった方がいいと思います。

猪熊副委員長) 私もこのままの文言でいいかなと思っております。これでは弱いという人が3名おりますので、その方々で案を出していただきたいと思います。

片岡委員) それでは3名で考え文言を提案します。

(休憩)

猪熊副委員長) 会議を再開します。附帯意見の二つ目について、「将来を見据えた行政運営の効率化及び持続可能な地域の発展を目指す観点から、合併推進債を有効に活用し、後年度の財政負担を軽減しつつ、湧別の未来を担う次世代に誇れる拠点として、新庁舎整備も含めた庁舎の集約化について検討していただきたい。」とすることにしてはどうかと修正案が出されました。この修正

案がいいのか、元の案でいいのか発言をお願いいたします。

藤井委員) 提出された改正案の方がいいと思います。先ほど水野委員がおっしゃられたとおり契約解除の方向で動いているので、合併推進債の活用は厳しいと思うのですが、修正案の方がいいと思っています。

小幡委員) 委員が納得するのであれば、修正案の方がいいと思います。

清水委員) 基本的に新庁舎を賛成するかしないかで、受け止め方が変わり、どう折り合いをつけるかだと思うが、個人的には修正案がいいと思っています。

上松委員) 建てる建てないは別として、附帯意見としては修正案でいいと思います。

遠藤委員) 具体的に書いた方がわかりやすいと思うので修正案がいいと思います。

水野委員) 私は修正前の案がいいと思う。ただ、それにプラスして今皆さんが言われた意見があったという形がよかったと思うが多数の意見であればそれに従います。

猪熊副委員長) 全委員の意見を聞き、附帯意見として修正案の方がいいということです。修正して答申することといたします。それ以外の意見はございませんか。よろしいですか。それでは事務局で修正していただき、この後答申を行いますので、若干休憩いたします。

(休憩)

4. 答 申

井上課長) これより湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会条例第2条の規定に基づき、猪熊副委員長から加藤町長へ答申していただきますので、猪熊副委員長、加藤町長は中央に進んでいただくとともに、委員の皆様もご起立ください。

(猪熊副委員長が答申文を朗読後、加藤町長へ手渡す)

5. 町長との意見交換

加藤町長) 委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しいところ、全4回の策定委員会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。昨年9月2日に策定委員会に対し諮問していた、「湧別町人口ビジョン」の改訂、「第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について、ただいま猪熊副委員長より答申、附帯意見をいただきました。少子高齢化に伴う、人口減少問題について、いままでも様々な取組みを行っておりますが、現実はどうも思うように改善せず大変厳

しい状況であると感じております。そのような中でも湧別町に「住み続けたい」、「住んでよかった」と思ってもらえるよう、答申いただきましたこの総合戦略の施策に基づき、これからのまちづくりに努力していきたいと思っておりますので、委員の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

井上課長) 町長との意見交換ということで委員の皆様から様々なご意見を頂きたいと思えます。

片岡委員) 附帯意見の2番目に新庁舎整備の附帯意見がございます。この意見についてどうお考えになるのか聞かせていただきたい。

加藤町長) 附帯意見について、合併推進債を使って新庁舎を建設ということに対して、町長就任後この問題について粛々と進め、基本設計・実施設計の契約を解除すべく設計会社と話をしてきました。解除すると北海道から合併推進債は使用できなくなると聞き、総務省見解でも1月31日の契約解除をもって合併推進債が使えなくなると話を聞いておりますので、今回は誠に申し訳ございませんが、公約で掲げた庁舎建設を凍結するという前提でこれを進めておりましたのでご理解いただきたいと思えます。附帯意見は私も重く受け止めておりますが、そのようなことでご理解いただきたいと思えます。

片岡委員) いま住民投票の動きがあり、まちづくり懇談会が開催されていて、今回こういう意見が出た。そういう意見がある中で、このまま凍結するという理解でよろしいでしょうか。

加藤町長) 私は今回の選挙の最大の公約として庁舎建設を凍結するということで皆様から支持をいただいておりますので、その公約を進めていきたいと思っております。

西村委員) 委員の名簿を見ていただき、もし僕が町長だったらというあくまで仮定の話なんですけど、ここに名前を連ねている推薦団体、役職、とても重たいと思えます。先ほどの答申内容にありました湧別の未来をおそらくとても考えている方々であり、僕はまだまだ若いので、皆さんが湧別を守って盛り上げてくれた第一人者であると理解しています。その方々が、ここで一致団結して悩みに悩んで出した附帯意見となっておりますが、かなり重たい意見だと私が町長だったら捉えます。ある意味これは民意の一つであり、ここに名を連ねている方々が背負っているものはとても重いです。自治会長であれば自治会、そこに住まわれている家族、有権者だけでなく附帯意見に書かれている湧別の未来を創っていく、お年寄りではなく子どもたちです。学校の先生や各団体、企業の方、商工会の方もそうです。それを民意として、私が町長であればまた違う捉え方だったり、今勇み足で進めていることを別の方法で民意を確認す

るという手段はまだまだたくさん残されております。という中でどう考えるか改めてお聞きしたいと思っております。

加藤町長) 選挙は民主主義の根幹であると認識しております。それは皆さんご承知だと思います。先月開催の第4回定例町議会においても所信表明で私の意志を皆さんに伝えておりますし、一般質問の中でも6人の方が庁舎問題について質問を寄せられました。その質問に対しても、私は同じ考えで臨んでおります。先ほど申し上げましたように、就任直後から副町長、関係課長等に札幌に行ってもらい、設計業者と打ち合わせをして、私は粛々とその問題について取り組んでまいりました。私は先ほど申し上げましたとおり、今回の選挙の最大の公約は庁舎建設を凍結すると表明しております。私は4年前に議会議員となり、ずっとこの問題について議論しております。ですから、庁舎について長い間皆さままで議論し、そして最終的に選挙でどちらにするのかということ、前町長も今回の選挙は住民投票と同じ内容であると、それで戦ってまいりましたので、私はこの結果を重く受け止め、手続きを行ってきておりますので、どうかご理解をいただきたいと思っております。

西村委員) ありがとうございます。私の受け止めですけれど、いま町で起きている事象とここのメンバーの声は聞くに値しないということで理解されているということで受け止めておきます。現在の第2期総合戦略は全て目を通して理解されていると思うのですが、先ほどの挨拶にもありましたが、この町に課題が多いという話がありましたけれど、何が課題で、いま町はこういう現状となってしまうのかというのを多角的な視点で教えていただきたいです。

加藤町長) 一番の大きな問題は人口減少に伴ういろいろな課題ですね。それを取組んでまいりたいと思っておりますが、人口問題についてはこの町だけの問題ではなくて全国的な問題であります。人口が増えているところはわずかなところであって、ほとんどのところは人口が減ってきていろいろな課題が山積していると思います。その中で、特に私が大きな問題として捉えているのは福祉関係ですね。お年寄りの足の確保、それから病院、福祉施設の充実、それとインフラ整備、そういったものをこれから私は推し進めようと思っております。それと同時に産業の振興も大事ですので、第一次産業を基盤としたまちづくりを進めていきたい。それと同時に商工業の発展にも寄与してまいりたい。商工会それから産業は農協、漁協とそういった方の意見を聞きながら、私はこれからもまちづくりに励んでまいりたいという風に考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

西村委員) ありがとうございます。質問的には多角的にだったので、人口減少だけでなく他にもたくさん課題が山積していると思うので、例えば農業だったらどういう課題、建設、電気、水道、その他諸々あれば教えていただきたいと思っています。そうでなければ、今回私たちが考えた第3期素案が物足りない

かもしれない、ずれているかもしれないので是非教えていただきたいです。
加藤町長) 農業につきましては上湧別地区の玉ねぎ生産ですね。玉ねぎについては清水部長も来ていらっしゃるからいろいろな面で問題を抱えていると思いますが、まずは後継者、どの産業でもそうなんでしょうけど、後継者の問題がかなり大きいという風に思っております。せっかく玉ねぎを作ろうと思っても農地が余ってしまっている事象もお聞きしております。それと農協からはまだ直接要望は上がってきてはいないのですが、玉ねぎの加工施設が相当老朽化しておりますので、この整備に向けて私は農協の意見を聞きながら進めてまいりたいと思っております。それと他の農業政策については、両農協の組合長さんからお話を聞いておりますので、それを最大限来年度予算化に向けてまいりたいと思っております。漁業についても漁協から港の整備等々いろいろなお話を聞いておりますので、最大限支援してまいりたいと考えております。

西村委員) ありがとうございます。人口減少のところで質問させていただきお答えいただいたのですが、あくまでも私の考えなんですが、お年寄りへの福祉政策だったり湧別はとてもいい町だと思いますし、他の町と比較しても優遇され、手厚いと理解しておりますが、お年寄りをどれだけサポートしたところで、福祉施策を手厚くしたところで人口減少はちょっと延命できるかもしれないですけど、僕が町長だったら結構去年くらいから考えているのですけれど、まず出産、そして育児、あとはそもそもこの町が魅力的であること、転居してもらえる、あとは観光の面で湧別に行ってみようと思ってもらえる、あとは移住したいと思ったらちょっと体験してみようかという環境が整っていることがまず大事だと思うので、どちらかというところを力を入れるのは若年層だったり、現役世代だったりというところが先に出てくるのが町政としてはいい考え方と思っています。そこに関してのビジョン、昨日のまちづくり懇談会でも町側からこういうビジョンがあるという話が無かったので、是非聞かせていただきたいと思っています。

加藤町長) 子育て支援については、今、来年度に向けて予算編成を行っておりますが、その中で従来は妊婦さんに対し10万円の補助をしておりましたが、来年度につきましては区分を設けて3万、5万、10万円というような形で支援してまいりたいと考えていますし、来年、国の制度として義務教育学校前期、6年生までの給食費が無料となります。町としては上乗せ分として義務教育学校後期課程分の給食費を無料とすることを考えております。その他、従来から、湧別町は子育てに非常に力を入れていると聞いております。例えば高校生世代までの医療費の無料化を行っており、非常に助かっているというお話も聞いておりますし、湧別高校に対する存続対策として手厚い支援をしております。高校に通っている保護者からも非常に助かっているという話も聞

いておりますし、来年度からオープンする学生寮も非常に人気があって今回10人程度が入寮してくれるのではないかと情報を聞いております。その方々に対しても寮費を安く設定して、保護者の負担を軽減することも考えておりますので、高齢者ばかりではなくて、私は若年層、子育て世代に対して最大限支援してまいりたいと思っております。

遠藤委員) 給食費の無料化は4月からですか。わかりました。お年寄りの足の確保の話が出ましたが、遠軽まで行くバス代がすごく値上がりしました。町長選挙の前に町長とお話しさせていただいたんですが、バス代が値上がりしたのはお年寄りも子どもたちも一緒に、湧別高校の生徒には補助が出るが、遠軽高校へ通う生徒には補助がなく、湧別から片道770円だったのが、980円で行くようになりました。そんなに上がったんです。往復で約2千円です。町長とお話しさせていただいたときはそんなに値上がりするとは思わず、新聞報道で北見は60円くらいと書いてあったんですけど、それくらいの値上がりだと思って乗せたら、980円ですごくビックリして月にしたら27,000円通えていたのが35,000円かかるんです。3か月で10万円以上かかるんです。前にもお話しさせていただいて、湧別からと上湧別では全然違うのでちょっとでも予算に組み込んでいただけたらと話をさせていただいたんですけど、この点についてお願いしたいです。

加藤町長) 私、候補者の時にその話をさせていただいたの記憶によみがえってきました。湧別高校を存続する前提として交通費を補助するという制度の括りとなっているんですね。遠軽高校に通う方はこの制度では想定していないというのが実態なんです。だけど、保護者の負担という観点から考えれば、何かしらの助成をとということも考えられないことはないのですが、そこら辺をもう少し時間をかけてどういった支援ができるのか、同じ町民なのに通う学校が違うことによって支援が受けられない。そして前提としては湧別高校を私の町では是非存続させたい、他の高校になるべく行かないで、魅力ある湧別高校なので、なんとかその辺を理解していただいて、地元の学校を盛り立てていただきたいというのがまず前提なので、そこら辺を支援・拡張するのはもう少し時間をいただきたい。

遠藤委員) 重々承知しているが、遠軽町は段々町の住宅に入っていると値上がりして行ってそれで家を建てたほうが安いとなり、町営住宅を出て場所を探して遠軽町で建てたり、湧別町で建てたりしているんですけど、それとは逆で遠軽高校に通わせるのに湧別町を出て遠軽町に家を建てる人も増えてくると思うんです。こんなに値上がりしたら。人口減少につながりますし、遠軽高校に通っているからこちらに戻って来ないということもないと思うので、考えていただきたいと思います。

加藤町長) 貴重な意見ありがとうございます。十分検討させていただきます。

小幡委員) 先ほど町長から福祉の関係が充実していると言っていましたけど、うちのAコープから各施設に納品等をしてはいますが、若干ながら高いという形で同じ大本からこの施設に入っているんですよ。食品等。それで一時、うちの入っている部分で手数料、掛値を若干上げると減ると。うちとしては10%ぐらいで納品、10~15%で納品しているんですよ。かなり厳しい経営をしておりまして、Aコープは組合員の負担がかかっているところになぜうちの組合員が負担しなければならないのか、というようなことが組合員から出てきているところなんですよ。Aコープは農協の子会社なんですよ。農協がAコープから納品しているので、本来であれば25から30の掛値がないとならないが、納品関係は15くらいしか掛けてないんですよ。よそに行ってしまうから、生鮮とか野菜とか肉の関係はうちから取っていただいているのが現状なんです給食センター等。しかしながらうちが高いから北見の方に行ったりとかという話で若干減ってきているという状況もありますので、そこら辺りが町として施設等に食料購入の関係で負担してもらえれば、こちらでも適正な価格で売れるのと考えてるんですけど、Aコープは撤退するわけにはいかないんですよ。CITYとかだったら儲けがなかったら撤退するんです。うちらは組合員がいますんで、そこら辺りは赤字でも何人かが組合内で残してほしいというのであれば残しているという状況です。かなり赤字は赤字で、Aコープで年前の道新に載っていましたが、全道で35店舗ほど経営不振で辞めており、今、この管内では佐呂間、湧別町、雄武、ここが一つでもやめると配送の関係で物が入ってこないという状況となりますので、そのあたりをちょっと考えていただきたいなど。給食センターやオホーツク園など老人ホーム、この辺りではアイデアさんなど全部行っているんですけど、クレームがあってロスが出たりもしているんで、そのあたりを町として考えていただきたいと思います。うちらの努力でどうにもならないところがあります。店にきたら安いけど、納品が高いということがあってその職員が店に来てプライスカードというものがあるんですけど、それを見て何でこんなに高いんだとクレームきて、それだったら下げますよという話がありますので、そのあたりの事情を考えてもらいたいと思います。老人ホームは結構満杯だったり、給食で無償化になってて、なぜうちが犠牲になったのかなと思ったりもするんです。給食センター納入は見積合わせがあってそういう形もありますので、そこら辺りちょっと考えていただきたいと思います。

加藤町長) いま初めて実情をお聞きしましたので、実情をよくよく調べてまいりたいと思っておりますし、今言っていることは町関連施設ですね。そういったところに卸す場合には安くせざるを得ないということでもよろしいですか。

小幡委員) 安くせざるを得ないというか、うちも店を建てる時に3千万という助成をもらっていますので、その恩返しという形で他よりは安く出している

ということですね。

加藤町長) 先ほど、Aコープがどんどん少なくなっていくって、地域の方が買い物が不便になってくるという実態をお聞きしました。Aコープは湧別地区では本当に重要な店舗、商業施設でございますので、そこら辺実情を調べて今後対応してまいりたいと思いますのでご理解いただきたいと思います。

清水委員) 湧別から遠軽高校に通う人のことで、うちの農協も合併して区域が遠軽と上湧別ということで正直、合併前はうちの職員はみんな上湧別に住んでいました。ここ最近、子どもができて学校、高校に通う直前に中湧別、上湧別に住んでいたのがほぼ9割以上遠軽に家を建てて出ていきます。理由の一つとして大きいのは、先ほど出た交通費、湧別高校であれば当然歩いたり自転車で通える範囲ということでかからないが、先ほど言われたように毎月3万円台、4万円台の定期代がかかると、家を建てる時期の皆さん、その3万円、4万円あればローンの支払いに充てられると、2番目が学校の規模が小さくて大人数でやるスポーツ、こういったものがどうしても遠軽高校に行かないとやらせてあげられないというのもよく聞きました。そういった観点から、働き盛りのお父さんお母さんに当然家を建ててもらえればこの先何十年も住んでいただける、この町にいてもらえるというのもありますから、湧別高校の存続について尽力いただくのは当然かと思うんですが、湧別町から遠軽高校に通う場合もですね、町民が出ていかないような施策、これを何とかお願いをしていきたいなと思いますので、よろしくお願いします。2点目について、先ほどからいわゆる新庁舎の問題ということで、町長におかれましては選挙戦を戦った公約として凍結をするんだということで、民意が示されたので凍結しますという考えをお聞きしました。いまこの上湧別庁舎と湧別庁舎を残して活用していくという話を聞いております。近年例えば残念ながら破綻をしてしまった夕張市で言えば、破綻後にコンパクトシティ化ということで、いろいろな集落を集約化していくって、一つにまとめていってお金はかからないんですと。最近問題となってきている北見市については合併したからというよりも合併した後も旧町の機能をほとんど残したまま運営を続けていたと、いわゆる合併のメリットで集約化できるものを何一つやってこなかったと、笑い話で言われるのが人口200万人の札幌市の図書館の数より、人口10万人の北見市の図書館の数の方が多い、合併をして合併特例債を使える状況で何一つ集約をしないで何をやっていたんだと。湧別町につきましては、ご不満がある方もいらっしゃると思いますが、小中学校沢山あったものを3つに大きく集約をしました。旧湧別で言えば会館の横にあった寿の家を整理していき、非常に集約化してお金を使わないようにというふうに進んできたかと思えます。新町長におかれましては、大きなお金を使う新庁舎ではなく、既存の庁舎を活かしながらということであれば、是非集約化、これは両方残すので

はなく、いかにお金をかけないか、かからないようにという観点で言えば、集約化についても前向きにご検討いただきたいと思います。

加藤町長) 1点目につきまして、私がえんゆうさんを訪問した際に湧別町に住んでいる方どのくらいですかと言ったら半々ぐらい、それ以上ですね、遠軽に住んでいる方が多いですというお話を聞いてその実態をよく知ってございます。先ほどの交通費のことと絡めてですね、分譲・定住の話もされておりましたので、そこら辺は総合的な政策の中で、交通費を含めてどう支援していけるのか、考えていきたいと思っております。もう一つの庁舎の集約の関係でございますが、これは数年前にコミュニティセンターの和室を改修し執務できるような環境にしております。それから本庁舎の一部もスペースが空いておりますので、現在湧別庁舎で仕事をしている課が全部で3課、4つの部署に分かれておりますので、そこのどの部分をこちらに集約するのか、向こうの状況を見定めながら検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

上松委員) 今子どもが上湧別学園に通っているんですけど、4月から湧別高校へ進学する予定なんですけど、湧別高校の校舎の整備というのは予定には入らないんですかね。あまりにも古すぎて廊下のクッションフロアがめくれて危険な状態となっていたり、外階段のタイルが剥がれてガタガタになっていたとか、これだったら今の子こないよねっていうのが現実だと思うんですけど。やっぱり見た目もあっての中身で、そこで始めて子どもが選べる。やっぱり見た目が良ければ親が勧めやすいし、安心して通えるんじゃないかなと。部分的な改修はあると思うんですけど、生活する環境としては不適格かなという感じもあるんですよ。ここ数年でエアコンが設置されたんですが、電源自体が少ないので、2クラス同時に使うと電源が落ちちゃったり、子どもたちも厳しい環境の中での授業だったりもするので、そういうところを変えていただくと、子どもを呼びやすいし、親としてはずっといたいなと思えるような環境になるのかと思い、先ほども言われていたのですが、若い子たちをどうにかとどめる施策というのをもうちょっと強めにやってもらえると、もうちょっと人口も増えるんじゃないかと思えます。

加藤町長) 貴重な意見、ありがとうございます。私も何度か、今年は2回ほど湧別高校に行きましていろいろなお話を聞いております。保護者からも話を聞いておりますし、教育委員会からもいろいろな話、実情を聞いております。その中で、町としてはソフト面で教科書の無償化ですとか、いろいろ手厚い補助をしております。ただ、ハード、校舎については道教委と教育委員会を通していろいろ協議をしているのですが、校舎については道立、道教育委員会の所有物なので、そこを町が道に先駆けてトイレを改修する、廊下を改修するなどは避けて欲しいということなんです。それで教育委員会を通じて道教委には粘

り強く、校舎が寒いだとか、トイレが洋式化になっていないだとか話を聞いておりますので、道教委に要望して何とか改善していただきたい。町としてもこれだけテニスコート等整備しているので、何とかお願いしたいということで、私も先日オホーツク総合振興局にある教育部門に挨拶したら関係者から湧別町は湧別高校にいろいろな面でサポートしていただいているありがたいという話を聞いておりますので、この先も要望してまいりたいと思っています。

上松委員) 6年前くらいに義務教育学校をつくるという説明会があったと思うんですけど、その時湧別町教育委員会の方から道は湧別高校はなくても大丈夫でしょという話があったというのがあったんですね。これだけ遠軽高校に通えているのだから、通おうと思えばなくてもいいんじゃないというような考え方があるというのが聞こえてきたので、その観点から言うと、道は湧別高校に対して援助したくないのかなと思った。湧別高校の存続というのが言われている中で、そのような話を聞いたので少し寂しくなったというのが実際だったので、もうちょっと積極的に引っ張ってこれるものは引っ張っていただければなど、親としての要望であります。

加藤町長) 私も同感です。湧別高校はうちの地域に大切な教育機関でありますので、存続できるよう最大限私は支援してまいりたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

片岡委員) 現庁舎そのまま使うということで、今会議やって1時間くらいで足が冷たくなるような、また、夏はすごく暑いと言ってます。この辺、例えば現庁舎の整備というのはどのように考えておりますか。

加藤町長) 先ほど申し上げましたように、次年度に向け予算編成をしております。コミセン、庁舎含めてエアコンを設置してまいりたいと思っております。それでこの暑い夏に職員の皆さんにはそういった環境の中で仕事をしてもらえるように私は進めておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

片岡委員) 湧別庁舎は。

加藤町長) 湧別庁舎についてはこれから検討してまいりたいと思えます。

片岡委員) 検討というのは。こっちはエアコンを設置しますよ。湧別は先送りですよという。

加藤町長) そちら辺も状況を見定めながら、これから進めていきたいと思えます。

片岡委員) 公平にやってあげたほうが、いいのでは。

加藤町長) 同じ職員ですから、職員の皆さんが一生懸命仕事できる環境づくりに進めていきたいと思えます。

西村委員) 片岡委員の質問がすごく大事だと思うので、ボイラーも古くなってきていて、クーラーもつけなきゃいけない。ここは吹き抜けがあつていろいろ問題があるとわかっており、湧別庁舎なんてそのうち潰すかもしれない。という中で工事をします。多分無駄だと思いますし、そうなったときにいくらかかる

のかという総額を出さないで工事に踏み切るとするのは全体像が見えてなさすぎると思うので、そこは同時に考えた上で、着工は別に年度が替わってもいいんですけど、全体の予算を把握して、その後何年使うのかというメリットだったり、撤去費用だったりも考えないと予算の使い方としては、一町民としては全く納得できませんので、そこはしっかり全体を見て考えていただきたいと思います。

加藤町長) 貴重な意見をありがとうございます。そこら辺を踏まえて十分検討してこれから進めていきます。

猪熊副委員長) 義務教育学校上湧別学園が開校して、上湧別地区の小学校4校が閉校している関係でございます。この4校については、取り壊すのか、他の用途として活用していくのかこれから検討が進められていくのかなと思っておりますけど、この策定委員会の中で意見としてあったのですが、ひと創生の関係ですね、交流広場整備事業として活用したらどうかという意見として入っているのですが、前の町長は中湧別小学校を改築してそれを交流広場として整備しようということで、今回、町長代わられて庁舎を凍結、それと一緒に中湧別小学校の改築も凍結ということみたいですが、町民の方から私の方にも庁舎より子どもたちが遊べる屋内遊具施設を非常に楽しみにしていた人がいるとたくさん聞いてございます。今現在の湧別町公共施設再配置実行計画第1期中、これを見ると愛ランドユウ、愛ランドユウの遊具というのは更新時期が過ぎていたり、もう間もなく更新時期を迎える機械がほとんどなので、要するに愛ランドユウは屋外なので、夏場しか使えないので、それよりも通年で冬も利用できる屋内遊具施設に切り替えていった方がいいんじゃないかと思えますし、公共施設再配置実行計画というのは根本に人口ビジョン、今から34年後の2060年には今の人口から61%減少するという社人研推計、そのとおりになるのか、今の計画で言うと3,200人ぐらいになってしまうということがあって、特にうちの町は合併した町であって公共施設が沢山ある。例えば文化センターが2つあるよ、庁舎が2つあるよということも踏まえ、40年間で40%の公共施設の面積を減らさないと、要するに、維持管理費の関係で大変になるよと、減らしていかなければならないということですので、新しく建てるというのは非常にこの計画上からも難しいのですが、あくまでも中湧別小学校も閉校して空いているとか、愛ランドユウを極端な話止めるとか、止めて屋内遊具施設にするとか一つの手だと思いますので、そういったことも踏まえて、この公共施設再配置実行計画に基づいた実行をしていかないと維持管理費だけで財政を圧迫してしまうということになると思うので、そういうことも検討いただきたいなということが私からの意見でございます。

加藤町長) ありがとうございます。小学校については富美小学校、開盛小学校、中湧別小学校、上湧別小学校とあるのですが、富美小学校、開盛小学校は地域

に根差した学校なんですね。それで地域の皆さまが富美小学校が閉校となっているんですが、どういう要望がありますかと、開盛もそうですよね。開盛は特にミニバレーなどで使っておりますので、そういった、これからどういう活用がいいのかっていうことを、まず実態を把握して私は進めてまいりたいと思っております。上湧別小学校、中湧別小学校はちょっと違うんですね。上湧別小学校は農村センターだったり、コミセンがありますから、必ずしもあそこが地域の拠点施設ということでもないのかなと考えております。上湧別小学校、中湧別小学校は富美小学校、開盛小学校とは違った観点で皆さんと協議して進めてまいりたいと思っております。特に中湧別小学校は今回の基本計画でいろいろな使い道があると計画に載っております。eスポーツですとか塾だとか子育て支援の関係だとか、いろんないいプランニングがありますので、私はそれを参考としながら皆さんと検討してどういう活用がいいのか、と思っているんですね。特に近隣の福社会館、あの中には社会福祉協議会と就労センターという2つの団体があるので、今日篠田会長がおられますが、老朽化して困っているという話もよく聞いておりますので、中湧別小学校含めてどういう利活用がいいのか、関係する団体、地域の団体、あるいはその他の方々の意見を聞いて総合的にその利活用について進めてまいりたいと思っております。それと愛ランドユースですね。愛ランドユースは皆さまご承知のとおり、その遊具もかなり老朽化しておりますが、毎年きちんと修繕しておりますので、安全に遊具は使っております。ただ、あの遊具が魅力的な遊具かどうかというのは、私は疑問を持っております。それであそこの施設については遊具を中心とするのがいいのか、道の駅に重点をおいて整備するのか、そこら辺を皆さまの意見を聞いて、愛ランドユースの整備の在り方、コンサルの意見を聞きながら整備に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

6. その他

(1) 事務局からの連絡事項

- ・委員の任期は条例第4条の規定により、答申日（本日）で任務終了となります。
- ・総合戦略はパブリックコメントを実施後、3月下旬頃策定となります。委員の皆様には修正があった場合、計画書を送付します。

7. 閉 会

井上課長) 委員の皆さまにおかれましては、これまでお忙しい中、ご審議頂きありがとうございます。本日頂きました答申を基にパブリックコメントなどの手続きを経て3月を目途に計画が策定されます。

今後とも、町政の推進にご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます、お礼にかえさせていただきます。

ありがとうございました。

午後3時25分終了